



おさかな瓦版

No. 84

2018.7

シリーズ：エビ・カニ 第8回

ホッコクアカエビ



ふーちゃんのトピックス

いっばんこうかい
一般公開するよ！ 遊びに来てね！

ホッコクアカエビ

～身近なエビの、不思議なくらし～

ホッコクアカエビ（📷1）は北太平洋の深
海に広く分布しています。日本周辺では、日
本海および太平洋の宮城県より北の水深 200
～950メートルに生息しています（📍1）。
とくに日本海では、底びき網やかご網（えび
かご）で漁獲され、冬を代表する味覚として知
られています。

古くは明治初期、底びき網でホッコクアカ
エビをとっていたことが記録に残っています
。当時は殻ごと塩ゆでにして食べていたそ

うです。

「甘えび（北陸）」、「赤えび（山陰）」、「南
蛮えび（新潟）」といった地方名があることか
らも、ホッコクアカエビが地域に根差し、
人々に愛されてきたことがわかります。強い
甘みと鮮やかな朱色が特徴で、刺し身、唐揚
げ、みそ汁や塩辛など、さまざまな形で食べ
られてきました。

ホッコクアカエビの特徴に、オスからメス
へ変身する「性転換」があります（📍2）。メ



📷1 ホッコクアカエビ



📍1 ホッコクアカエビの分布域

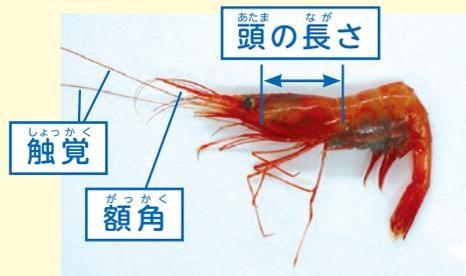


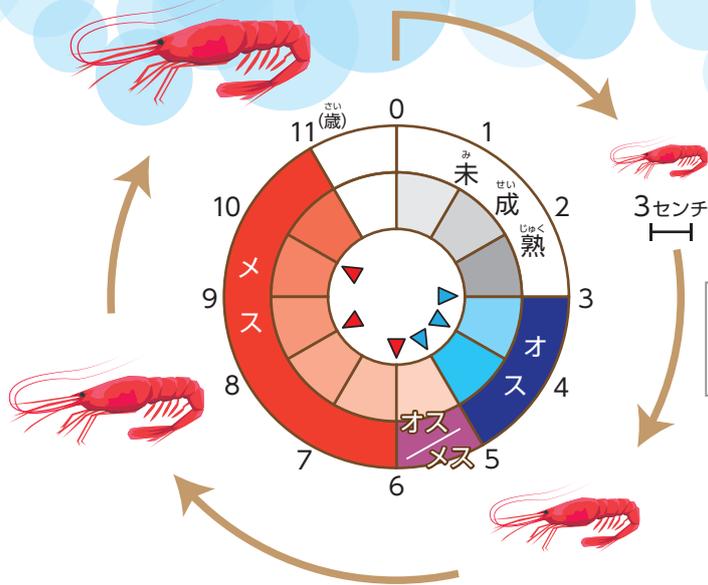
あんじいの
ワンポイント
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

エビのサイズは頭で測る？

エビ類のサイズは「頭の長さ」で表すというルール
があるのじゃ。体の折れ曲がったエビ類の体の長さ
を測るのは難しい上、かれらには角（額角）やひげ
（触角）があるから、測る場所を統一する必要がある
のじゃ。眼の収まっているくぼみの後ろから頭（頭部、内臓を含む甲羅、角の生えている
部分）の後ろまでの長さを、一般的に「頭の長さ」と言っておる。





2 ホッコクアカエビの一生

スに抱えられた卵からふ化した幼生 (カメラ 2) は、約1カ月間のプランクトン生活を経て、水深300メートル前後の泥場に着底すると考えられています。稚エビはその後、成長しながら400～600メートルの深場へと移動し、3、4、5歳の冬に、まずオスとして生殖に参加します。5歳を過ぎると、今度はメスになります。6、8、10歳の冬に交尾をし、翌7、9、11歳の冬に、おなかに抱えた卵から幼生をふ化させます。オスからメスに性転換するエビの仲間はいくつか知られていますが、ホッコ



2 ホッコクアカエビの幼生 (ゾエア幼生)

交尾 (オス)
交尾・産卵 (メス)

クアカエビは中でもとくに身近なものといえます。

日本海でのホッコクアカエビの漁獲量は、1980年代はじめにピークを迎えたのち急速に減少し、1990年ごろには、ピーク時の半分くらいまで落ち込みました。しかし、小さなエビを逃がすためにエビを獲る網の目を拡大する、親エビを獲り尽くさないように漁の期間を短くするなど、漁師さんの努力もあり、2016年にはピーク時の7割くらいまで漁獲量が回復しました。私たちは、これからもおいしいホッコクアカエビを食べ続けられるよう、どうすれば限りある資源を上手に利用できるか考えながら、研究しています。

(佐久間 啓)



ホッコクアカエビの旬は？

ホッコクアカエビの旬は秋～冬です。秋口には底びき網漁業が解禁され、新鮮なホッコクアカエビで市場がにぎわいます。また、海水温や気温が低下する冬場には、水揚げされるホッコクアカエビの鮮度もよく、加えてメスの内子(体内の卵巣にある未熟な卵)も充実してくるため、一層おいしさが増します。脱皮して殻が柔らかくなる春先までが食べごろです。





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

みんなで
あそびに来てね!



いっばんこうかい 一般公開するよ! あそび 遊びに来てね!

水産研究・教育機構では毎年、研究所を一般公開しています。研究所ってどんなところ? 研究者ってどんな仕事をしているのかな? 研究施設の見学や、タッチプールやいろいろな体験コーナーもありますよ。親子で魚のことを楽しく勉強できます。ぜひ遊びに来てね。

くわしくは水産研究・教育機構ウェブサイトをご覧ください。

10月以降の一般公開の予定は次号でお知らせします。

いっばんこうかい 一般公開のスケジュール

7月14日(土)

瀬戸内海区水産研究所 廿日市庁舎 (広島県廿日市市)
ウェブサイト ▶ <http://feis.fra.affrc.go.jp/>

7月27日(金)

日本海区水産研究所 宮津庁舎 (京都府宮津市)
ウェブサイト ▶ <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

7月28日(土)

増養殖研究所 玉城庁舎 (三重県度会郡玉城町)
ウェブサイト ▶ <http://nria.fra.affrc.go.jp/>

8月9日(木)

中央水産研究所 日光庁舎 (栃木県日光市)
ウェブサイト ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>

9月22日(土)

東北区水産研究所 塩釜庁舎 (宮城県塩釜市)
ウェブサイト ▶ <http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

9月23日(日)

中央水産研究所 横須賀庁舎 (神奈川県横須賀市)
ウェブサイト ▶ <http://nrifs.fra.affrc.go.jp/>

「さかなと森の観察園」
無料公開デー



さくねん 過去の一般公開のようす



ふーちゃん



ふっくん

せんじんのもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.84 (2018年7月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報課

〒220-6115 神奈川県横浜西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



底びき網漁船により水揚げされたホッコクアカエビ



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。